

北海道士幌高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 「志」プロジェクトを活用して、生徒の目的意識の向上を図る。 (2) プロジェクト学習を中核としたPDCAサイクルを意識した活動 (3) 進路実現に向けた外部講師の活用	『志』プロジェクトにおける外部との連携により探究的な学びが深まったとともに、キャリア教育の充実が図られたことで進路実現に対する意識の醸成にも繋がっている。	教科横断的な視点でプロジェクト学習や総合的な探究の時間をどのように展開していくかを検証する。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 普通教科との連携による外国語学習の充実（ALTの活用） (2) GAPとHACCPの実践 (3) オンライン交流による諸外国との交流	海外文化交流事業によりALTの語学指導のもと5名の生徒がアメリカで文化交流を実施したほか、キルギス共和国との技術支援交流や生産部門においては第三者認証を継続することができている。	第三者認証の継続とグローバル教育を教育課程の中にどう位置付けていくかを検討する。	5
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域特産物を活用した栽培方法の検討 (2) IoTを活用した農作業の見える化、効率化の検討	ドローン、トラクタの自動操舵システムなどの導入を進めるとともに、外部との連携を通じた新しい時代の新しい農業技術を積極的に活用することができている。	新技術の導入、活用を推進していく中で、指導者の知識・技術の向上をどう図っていくかを検討する。	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域食材を用いた加工食品の開発とマーケティング学習による販売方法の確立 (2) HACCP認証取得後の衛生管理手法の実践	各専攻班のプロジェクト活動や放課後農業クラブとして機能している「志Lab」の取組により、生徒が主体的に地域農業や産業の課題解決に向けて取り組むことができている。	各専攻班及び「志Lab」による外部との連携をこれまで以上に加速させ主体的な学びの推進を図る。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) GAPとHACCPの取組による環境に配慮した教育の実践 (2) 課題研究「環境専攻班」によるプロジェクト活動の推進	GGAP、有機JAS、北海道HACCPなどの認証を継続した。また、環境専攻班による防風林保全などの研究継続により持続的な地球環境を守るための教育を推進することができている。	第三者認証は継続していくとともに、地域の環境保全に係る取組の情報発信するなど広報活動の必要性を検討する。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域の食材を生かした加工品の開発 (2) 新たな食材の開発・試作 (3) 地域の観光資源の発掘	昨年度より士幌町との連携により始めた「ふるさと納税返礼品」としてのアイスクリームの製造に加え、今年度新たに「どら焼き」を製造するなど、地域振興に寄与している。	次年度のふるさと納税返礼品の新規登録に向けて、積極的に外部と連携した商品の開発を推進する。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 高校より地域の魅力を発信する取組の実践 (2) 地域の交流場所となる取組の実践	学校公式SNS（YouTube、Instagram、Facebook）を積極的に活用することで地域イベントにおける地域との連携状況を情報発信することで地域振興に貢献することができている。	動画の作成や編集作業、アップロード等において生徒が中心となって活動するための機器やソフトの操作方法を含めたルールづくりやマニュアルを検討する。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の防災を、避難訓練等を通じて、防災意識を育む。	防災訓練を実施して、災害時準拠点として登録されている道の駅の活用方法を学習した。	今後も引き続き訓練や日常的な啓発により、生徒一人ひとりの防災意識を育んでいく。	4